



自分を大切に，他の人も大切に

国分北小学校 川野 浩明

令和6年度は，12月4日から10日までが人権週間です。これは，国際連合で1948年12月10日に世界人権宣言が採択されたことに由来します。国分北小でも，この時期に合わせて，人権に関する学習を行います。

12月5日は，全学年で人権集会を行いました。人権集会では，人権擁護員の方にお話をいただきました。また，それぞれの学級の代表が，自分で作った人権標語を発表しました。その中でも，特にいいなと思った標語をいくつか紹介します。



「いやなあだな言わないで 名前は親からもらった 最初の宝物」(6年生作品)

「どこの国の生まれとか はだの色とか体型とか 他の人と比べないで 自分は自分だよ」(6年生作品)

どちらも，6年生の作品です。この2つの作品は，自分のアイデンティティである名前を大切にすることや，人と比べないで自分は自分であっていいという気持ちがよく伝わります。「違い」は「劣っている」や「優れている」ということではなく，「それぞれの個性」であることを理解してほしいと思います。

人権で大事なことは，まず，「自分を大切にすること」です。他者の人権を尊重するためには，自分が大切な存在であると自分自身が認めていることが大切です。そうすることで，他者も自分と同じ大切な存在であると気付くことができると思います。



「ともだちと あそぶときにも おもいやり」(1年生作品)

「ひとりじゃない わたしがいるよ みんなもね」(2年生作品)

「気付きたい あなたの心の SOS」(6年生作品)

もう一つ大事なことは，「他の人も大切にすること」です。友達のことを思いやり，気を配っていくことで，自分も成長していきます。これら作品からは，「一人にさせないよ，大丈夫，いつも寄り添っているからね。」といったメッセージが伝わります。国分北小学校でも，いじめや差別は，「絶対しない，させない，見過ごさない」という姿勢で取り組んでいきます。



国分北小学校では，人のために何かできることを考える「利他の心」を育成することで寛大さと優しさの気持ちをつくり，また，友達と支え合うことで，自分だけでなく，周りの人も気持ちよく，幸せに過ごせる姿をめざして取り組んでいきます。